

令和6年9月24日
企画部オーガニックシティ推進課
0438-23-8049
教育部学校教育課
0438-23-5264

市内中学校とインドネシア共和国ボゴール第一中学校が学校交流を実施します！

市では、次代を担う子どもたちの国際交流を促進することで、進展するグローバル社会に対応した、幅広い視野と豊かな人間性を持った人材の育成に取り組んでいます。

今般、令和6年10月10日（木）及び11日（金）の2日間、本市と友好協定を締結しているインドネシア共和国西ジャワ州ボゴール市のボゴール第一中学校が来津され、鎌足中学校並びに岩根中学校との学校交流を実施する運びとなりました。

また、10月11日（金）には木更津市長への表敬訪問も行われます。
本件の周知を図るため、記事掲載にご協力の程よろしくお願いします。

1 来津日程・訪問先

- 10月 9日（水）夕方 木更津市 到着
10月10日（木）午前 鎌足中学校と日本の代表的な武道の一つである剣道や英語の授業等を通じた交流（9時30分開始予定）
午後 市内視察（木更津市郷土博物館「金のすず」見学 等）
10月11日（金）午前 市長表敬訪問（9時開始予定）、
岩根中学校と日本の伝統的な文化である浴衣の着衣体験等を通じた交流（11時開始予定）
午後 市内視察（かずさクリーンシステム施設見学 等）
10月12日（土）早朝 木更津市 出発

- 2 訪問者 インドネシア共和国 西ジャワ州 ボゴール第一中学校 34名
内訳：校長1名、教師2名、生徒31名

3 概要

インドネシア共和国西ジャワ州ボゴール市とは、2016（平成28）年11月18日に友好都市協定を締結し、これまでの間、交流を深めるとともに、民間レベルでの経済的な結びつきを高めるため、2022（令和4）年11月28日にボゴール市のヒマ市長等が来日され、友好協定の更新を行い、更新を契機として、昨年6月にはボゴール市の生誕を祝う行事に渡辺市長が参加したところです。

今般、ボゴール市から、学校交流の一環としてボゴール第一中学校と市内中学校との現地交流の提案があったことから、生徒の語学力向上及びグローバル人材の育成を目的として、鎌足中学校及び岩根中学校において受け入れることを決定しました。

なお、ボゴール第一中学校とは、平成29年度に畑沢中学校とオンラインを活用した交流事業を実施したほか、平成30年度には木更津第一中学校及び畑沢中学校にて現地受入を行い、学生生活や授業、日本文化の体験等を通じた国際交流を実施しました。

4 ボゴール市の概要

- (1) 位 置 : 首都ジャカルタから南に約60km
- (2) 面 積 : 118.5平方キロメートル
- (3) 人 口 : 約109万人(2021年現在)
- (4) 産 業 : 市の中心地では自動車産業、化学工業、食品工業が発展、また、郊外は農業地として利用され、特に2000年代のボゴール市経済成長率は6%前後と高い水準を誇る。
- (5) 気 候 : 年間平均気温は25.3度で、年間を通じ雨量が非常に多く、雨の町として有名。
- (6) 施 設 : 市内には大統領宮殿やアジア最大の植物園(ボゴール植物園)、ボゴール農科大学などがあり、大学ではオーガニック食品の研究も行われている。

5 参考(過去事例)

(平成29年度)

ボゴール第一中学校と畑沢中学校におけるインターネット(スカイプ)を活用した交流の様子



(平成30年度)

ボゴール第一中学校と畑沢中学校における現地交流の様子



(平成30年度)

ボゴール第一中学校と木更津第一中学校における現地交流の様子

